

しゃぼん玉のように膨らむ人の輪(人々)

巨大しゃぼん玉… 自分も入りたい(笑)

石嶋さんは現在保育の専門学生で、高校生の時、石岡YSC(石岡市内で活動する高校生のボランティア団体)に所属し、ボランティア活動に携わっていました。そこで、みのくれ職員の一人と関わる機会があり、さくらフェスティバル(以下さくらフェス)の実行委員になりました。今年で実行委員2年目・桜の花のように可愛らしい石嶋さんが、風の広場で、「しゃぼんパーティー」を担当します。

「自分が入れるくらいの大きなしゃぼん玉を作りたい…でもやるよりも自分が入りたいかな(笑)」。さくらフェスの実行委員になったことで、幅広い年代の方との関わりも出来ました。実行委員にならなかつたら、絶対に知り合いにならなかつた人との交流ができて良かったです。さらに今年の実行委員会には同級生がいてビックリしました。昨年はホワイエ

チューリップや水仙の芽が顔を出しました。花粉症の皆さんには辛い季節がやってきました。三寒四温のこの時期にも春はちゃんとやってきて、桜の枝を赤色に染めはじめ、野山を桜色に染める日はそう遠くはありませんね。今回は4月4日に行われる「小美玉さくらフェスティバル2015」の実行委員で小美玉市小川地区にお住いの石嶋理沙さん取材します。



さくらフェスみの～れ実行委員
いしじま 理沙さん
石嶋理沙さん

「みの～れはアットホームな場所ですね♪」
と笑顔で話す石嶋さん。

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.93

担当で、今年は風の広場担当なのでお天気が心配です。しゃぼん玉は少し湿気があった方がいいんですけど、やっぱり晴れがいいですね」と石嶋さん。休日の過ごし方を聞いてみると「手芸が好きです。春休みとか夏休みを利用して色々作っているの、保育の現場で使えるといいなと思って作っています。小さいマスコット等、すぐに完成できて達成感が味わえる物がいいですね。最近では「グローブシアター」(手袋の先が人形等になっているもの)を作りました。暇な時間が嫌いで、月末になってびっちり予定が埋まった手帳を見て、『これだけ活動したんだな!』って達成感を味わうようにしています」と石嶋さんは楽しそうに話してくれました。

さくらフェスに関わるようになって、「人の輪がパーツと広がる感じが好きだし、小さな子どもが大好きなのでたくさんの人に会えるのが楽しみです。他の実行委員さんからもボランティアを含め色々な行事に参加してみないかって声がかかったりします。こんなに身近で楽しいボランティアができると思いませんでした。さくらフェス以外でも人との出会いが広がって、ずっとボランティア活動を続けて行きたいと思うし、ずっと人と関わっていきたくて思います。これも趣味の一つですね(笑)。昔は内気な性格だったんですが、これも色々な人と関わるうちに治ってきました。みの～れはアットホームな感じでいいですね。『あ、理沙ちゃん来たね』って気軽に声をかけてもらえるのが嬉しいですね」と温かく心の内を語ってくれました。

「4月4日のさくらフェスは保育実習先の子ども達や保育士の皆さんもみの～れまで足を運んでくれたら・・と思うと今から楽しみです」と話す石嶋さんの爽やかな笑顔が皆さんをお待ちしています。

4月4日の小美玉さくらフェスティバルは、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん!ぜひ皆様のお越しをお待ちしております。

(藤田佐知子)